

稲作情報 第2号



JAとなみ野ホームページ

令和5年4月21日
JAとなみ野米作改良対策本部
となみ野農業協同組合
砺波農林振興センター

- 健苗育成のため、かん水と育苗ハウスの温度管理を適切にしましょう。
- 初期分けつ確保のため、深植えにならないよう植付深さは3cmにしましょう。
- 斑点米カメムシ類を多発させないため、春から畦畔などの雑草を抑えましょう。

1 育苗後半の管理 【営農日誌p70参照】

- ・かん水は、早朝に1日1回を基本にしっかりと行いましょう。ただし、日中に乾く場合には適宜かん水をしましょう。
- ・田植えの7日前頃から昼夜を通して換気をし、苗を外気に慣らし、硬い苗に仕上げましょう。
- ・肥料切れの兆候が見られる場合は、1箱当たり硫安5g(窒素成分で1g)程度を水500mlに溶かして追肥しましょう。追肥後は葉ヤケ防止のために軽かん水しましょう。

○硬化期の日数とハウス内の温度の目安

	日数の目安	昼間	夜間
硬化期	13~15日	25℃以下	10℃以上

2 苗箱施薬剤の使用 【営農日誌p72参照】

農薬名	散布量	散布時期
ルーチンブライト箱粒剤	1箱当たり50g	播種時(覆土前)~移植当日

- ・水稻育苗ハウス跡、ハウス内で野菜などを栽培する場合は、ハウス内で苗箱施薬剤を散布しない。(注意)高密度播種育苗[密苗]の場合は、移植3日前から移植当日において、ルーチンブライト箱粒剤1箱当たり50~100gを育苗箱の上から均一に散布しましょう。

3 施肥 【営農日誌各栽培基準参照】

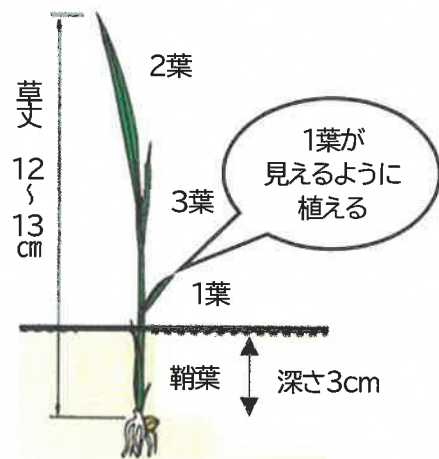
- ・土壤に応じた適正な施肥量を守り、過剰に施肥をしないようにしましょう。
- ・「てんたかく81」の基肥量はこれまでより減らして、適正な生育量へ誘導しましょう。
- ・「富富富」の窒素施肥量は、移植コシヒカリの地域慣行施肥量の8割以内として、栽培マニュアルを守りましょう。

4 田植え 【営農日誌 p 7 1 参照】

- ・初期生育を確保するため、右表の数値を目安に田植機を調整して、適正に植付けましょう。
- ・田植え以降活着するまでは、苗が水没しない程度の「深水」で管理しましょう。
- ・活着後は水深2~3cmの浅水で管理し、分けつの発生を促しましょう。

○適正な植付設定値

植付株数	植付本数	植付深さ
70株/坪	3~4本/株	3cm



5 春からの斑点米カメムシ類対策【営農日誌p78参照】

- ・例年、斑点米カメムシ類が、畦畔や雑草地などで確認されています。
- ・斑点米カメムシ類を多発させないために、越冬世代や春にふ化する世代の餌になるイネ科雑草の発生と繁茂を、次のいずれかの手段によって抑えましょう。
 - ①畦畔・雑草地などの草刈り
 - ②畦畔・雑草地などへの茎葉処理除草剤の散布

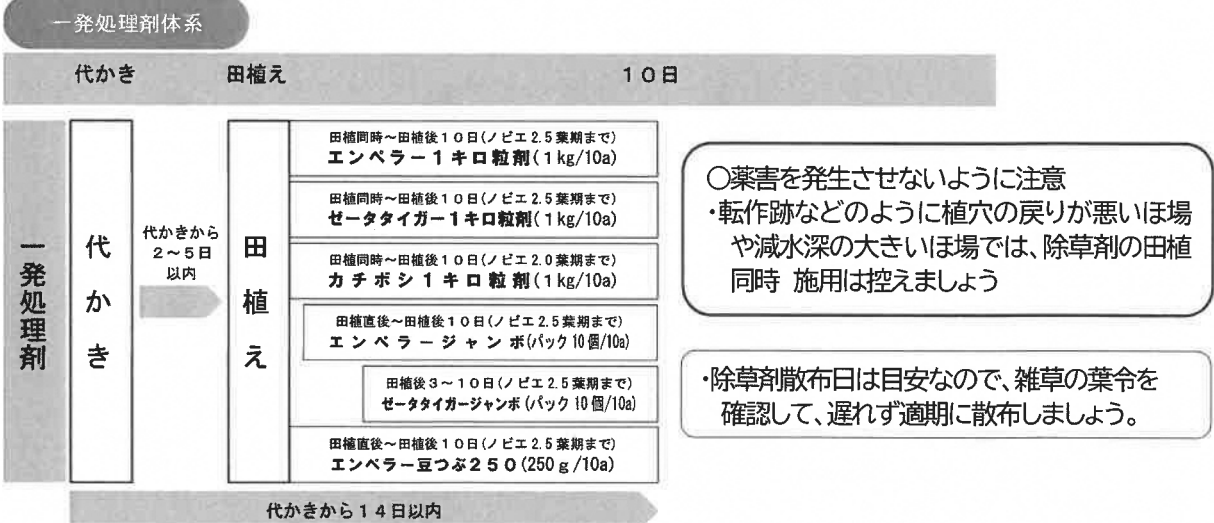
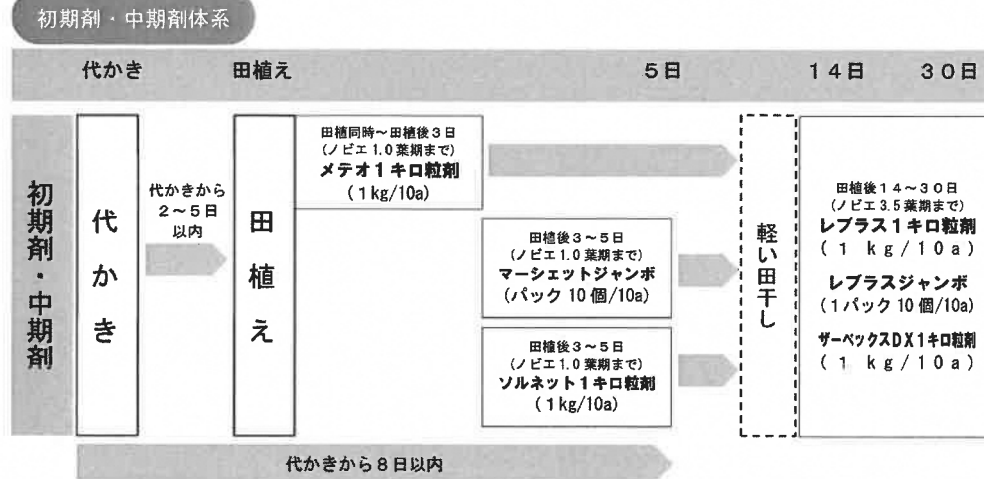
※次頁に除草剤の使用方法を掲載しています

JA関係以外無断掲示禁止

6 除草剤の使用法 【営農日誌p73～74参照】

- ・使用する除草剤の使用時期や使用量を確認して、適期に適量をムラなく散布しましょう。
- ・除草剤の効果を安定して得るために、除草剤散布後5日間程度は湛水状態を保ちましょう。
(散布後5日程度のうちに減水して田面が露出しそうな場合は、緩やかに足し水を行いましょう)
- ・除草剤散布後7日間は止水管理をして、除草剤成分が水田外へ流出しないようにしましょう。
- ・農薬を適正に使用するとともに、環境にやさしい農業を実践しましょう。

【除草剤の使用例】



(注意)「やまだわら」などの多収性品種に対しては、下表の「白化作用」を示す成分を含む除草剤を使用しないで下さい。

白化作用成分	ベンゾビシクロン	テフリルトリオン	メソトリオン
除草剤名(例)	ウィードコア1キロ粒剤	カチボシ1キロ粒剤・ジャンボ・フロアブル デオレ1キロ粒剤・ジャンボ・顆粒 バيسコープ1キロ粒剤 レプラス1キロ粒剤・ジャンボ	アトカラSジャンボMX

【お問い合わせ】

砺波農林振興センター	農業普及課 砺波班	32-8113		
となみ野農業協同組合	経済部 生産企画課	32-8619	資材配送センター:あぐり館	32-5440
	稲種センター	82-0117	農業機械センター	58-5520

令和5年 春の農作業安全確認運動実施中! (3/1～5/31)

『徹底しよう! 農業機械の転落・転倒対策』

危険箇所を確認し、危険回避行動(減速や回避)を実践! シートベルトとヘルメットの着用!